

## 2010年度 自己評価書

2011年 4月 18日  
学校法人藤学園 青森藤幼稚園

### 1、本年度の重点目標

- ・ キリスト教的人間観 ・ 教育観 に基づき、一人ひとりを大切に関わる。
- ・ 人格形成の基礎づくりに力を注ぐ。

### 2、本年度の経営方針

- ・ 今年度の行事の時、参観日、園だよりなどを通して教育方針を度々伝えていく。
- ・ 保護者の要望を取り入れながら園との信頼感を強める。
- ・ 園児の園での生活の中での成長ぶりを、保護者にしっかり伝える。

### 3、評価方法

評価方法は、次のとおり4段階とする。

- |                       |                |
|-----------------------|----------------|
| A 十分達成されている。          | B 達成されている。     |
| C 取り組まれているが、成果が十分でない。 | D 取り組むが不十分である。 |

### 4、自己評価結果

| 分野   | 評価項目   | 自己評価 |   |
|------|--|------|---|
|      |  | 達成状況 | 改善の方策   |
| 教育目標 | 1 園の創立理念 ・ 建学の精神にあるキリスト教理念を理解している。             | A    | 更に理解が深められるよう月に一度、司祭による講話、朝礼の祈りを大切に、共通理解を深めている |
|      | 2 教育目標と教育方針を理解している。                            | A    |   |
|      | 3 教育方針について園長と共に定期的に話し合い、理解を深めている。              | B    | 職員会議の中で話し合い、共通目的の理解を深める                       |
| 教育課程 | 4 幼稚園教育要領を理解している。                              | B    | 共通理解を深める                                      |
|      | 5 教育目標・教育方針が教育課程に反映されている。                      | A    |   |
|      | 6 職員全員の協力により教育課程を反省・評価し、必要に応じて改善している。          | A    | 学期ごとに職員と反省・評価の時間を十分に設け、改善していくよう努力している         |
| 指導計画 | 7 園の教育課程の具体的実施計画として、長期・短期の指導計画の関連性をふまえて作成している。 | B    | 長期・短期の関連性を考慮して作成している                          |
|      | 8 幼児の興味・関心・生活の流れ等、実態に応じて変更できるような計画になっている。      | A    | 幼児の興味・関心をもとに計画を立てているが、子供の状況によって変更するように努めている   |
|      | 9 日々の保育の記録をとり、自ら検討すると共に教員間で話し合い、次の計画にいかす       | A    | 教員間の意見を互いに活発に行い共同指導体制をとっている                   |
| 教育環境 | 10 幼児にとってふさわしく安定した生活ができる環境になっている。              | A    | 子どもたちにとっても安心して過ごせる設備と対応が暖かいものであるよう心がけている      |
|      | 11 施設・設備を整え、幼児の様々な活動がおこなえるようにしている。             | A    | 学期ごとに点検を行い、園児の活動を見、必要に応じ整えている                 |
|      | 12 施設・設備の安全を確保する努力をしている                        | A    | 年度始めに専門の人の遊具の点検を行うと共に毎朝、見回っている                |
|      | 13 施設・設備の改善や計画について積極的に意見を述べている。                | A    | 必要な意見を積極的に話し、改善している                           |

|         |  |   |  |
|---------|--|---|--|
| 教育内容    | 14 神の子として世界の平和を大切にすることを育てている。                                    | A | 宗教的講話やニュースなどを利用して平和について理解を深めている  |
|         | 15 生活や遊びの中で、頑張ったり、我慢したり等の豊かな心の体験が得られるようにしている。                    | A | チャンスをつかみ、その努力を褒め、励まし自覚を喜びを持ってるようにしている                                  |
|         | 16 生活や遊びの中でルールを守り、楽しく活動出来るようにしている。                               | A | 保育の中や遊びの中でルールを守る事により、楽しい事を体験できるようにしている                                 |
|         | 17 身近な事象(自然的事象・社会的事象)や動植物との触れ合い、親しむと共に生命の大切さや畏敬の念を感じとれるように努めている。 | A | 園内で飼っている動物・植物の育ちをよく見たり、自分で植物を植えるなど、生命の不思議を感じとれるようにしている                 |
| 教師の役割   | 18 幼児一人ひとりの心の拠り所としての役割を果たしている。                                   | A | 組の担任は勿論、職員全員でそれぞれ園児の必要に応えられるよう連絡を密にしている                                |
|         | 19 保護者に信頼されるように努めている。  | A | 一人ひとりの子どもを大切にすることによって、信頼されるように努めている                                    |
|         | 20 教師であることに、誇りをもち、生きがいを感じている                                     | A | 教師としてのプロ意識を持ち、責任感をしっかり持っている  |
| 資質の向上   | 21 キリストの教えを学び、それを幼児に伝える指導法を研究している。                               | B | 司祭によるキリスト教の講話で理解を深め、個々で伝えるように努力している                                    |
|         | 22 教師の専門性を高める為、自己研修等に意欲的に取り組んでいる                                 | A | 積極的に専門性を高める努力をし、必要と考えられる研修会に参加し研修している                                  |
|         | 23 保護者の子育てへの不安、育児へのニーズを理解しようと努めている。                              | A | 普段の園での生活を伝え、相談を受けた際、真剣に理解しようと努め共に考えている                                 |
| 地域連携    | 24 カトリック教会との連携をはかり、キリスト教文化や伝統に触れる機会を大切にしている                      | B | 教会とは、距離が離れているので園内でのクリスマス・イースター・マリア祭等の行事を心に残るように行う。マリア院の聖堂を訪問し関わりを深めている |
|         | 25 家庭や地域との連携を十分に図りながら、保育を展開するようにしている。                            | B | 地域との連携は不足している  |
|         | 26 地域に伝えられている文化や伝統に触れる機会を大切にしている。                                | B | 地域との連携は不足しているが、伝統的行事、文化等保育の中で話したりして理解を深める努力をしている                       |
|         | 27 他の教育機関等と連携や交流をし、保育に生かしている。                                    | A | 障害児、健常児の進学先の教師との話し合いの場を設け、交流見学・指導法等の相談を続けている。高校生との触れ合うチャンスをつくる。        |
| 組織運営    | 28 園・学園の組織について知り、自分もその組織の一員としての自覚をもって行動している。                     | A | 道外なので藤学園職員研修会等で、組織の一員としての自覚を実感できるよう、交替で参加をするよう努力する                     |
|         | 29 職員会議等の運営・役割に応じて積極的に参加している。                                    | A | 職員間での意見を取り入れ、積極的に参加し意欲を高める   |
|         | 30 教職員間の連絡・調整が適切に行われている  | A | 必要時の連絡・調整は、正確・迅速に行っている   |
| 保護者との意見 | 31 保護者からの意見を聞き、それを園長に伝え、適切に反映している。                               | A | 意見を聞いたら、園長に伝え職員全員と共に話し合い、必要な点は保育に反映させている                               |
|         | 32 幼児や保護者の個人情報の取り扱いについて適切な配慮がなされている。                             | A | 配慮している   |
|         | 33 事故・問題等が起きた場合の園長への報告・保護者への説明、対応を適切に行っている。                      | A | 小さな事故、問題と思えても園長に報告<br>保護者への説明・対応は迅速に行う                                 |

#### 5、総合的な評価結果

| 総合評価 | 理由  |
|------|---|
| A    | 全職員が園児・保護者に対して誠意と責任感をもって対応し、保育の内容と質を高める為の話し合い・反省を实践している |